

岐阜県家庭教育学級実践事例

学校行事参加型+講演会型(小学校)

学校名等	養老町立日吉小学校
実施日時	令和7年10月25日(土)
会場	日吉小学校 体育館
参加人数	45名
学習課題(分野)	みんなで学ぼう盲導犬の役割について(思いやり)
運営者の願い	視覚障がいや盲導犬の役割についての理解を深め、視覚障がい者や盲導犬に対しての思いやりのある行動について、親子で考えることができるように工夫した。 講話だけでなく、実演やふれあいの時間を設けて、低学年児童や参加者が楽しんで参加できるような内容を工夫した。
学習の内容	
<p><日程> 9:20~9:35 受付 (防災食品;非常米、長期保存水 配付) 9:35~10:20 授業参観 10:40~11:25 講演会 11:25~11:30 振り返り</p> <p><講演会> テーマ みんなで学ぼう盲導犬の役割 参加者 参加希望保護者(全保護者に案内) 1~3年児童、職員 講師 中部盲導犬協会 職員、PR犬 内容 1. 視覚障がいとは 2. 盲導犬の役割 3. 盲導犬の仕事(実演) 4. 質問タイム及びふれあい</p> <p>実施方法 ・ 保護者が参加しやすいように、土曜日の家族参観日に実施。 ・ 1~3年の児童も参加し、保護者とともに講話を聞く。 (前年度、聴覚障害についての学習をしたため、今年度は視覚障害にかかわるテーマにしたいと考えた。) ・ 講演後、盲導犬を間近で見たり、タッチして挨拶をしたりするなどのふれあいを楽しむ時間を設けた。 ・ 講演会后、参加した保護者に感想を書いてもらい、感想を交流した。</p> <p><参加した保護者の感想> ・ 今まで盲導犬について知ってはいたけど、全然知識はありませんでした。実際にお話を聞き、たくさんを知ることができ、改めて盲導犬のすごさを感じることができました。 ・ 初めての場所でもヨークちゃん(盲導犬)がおとなしくしている姿を見て、訓練された犬だと感じました。どうしたらもっと盲導犬が増えるのか知りたかったです。 ・ 盲導犬について親子で学べてとてもよかったです。もっといろいろ聞きたいので、来年高学年も含めてまたやってほしいです。 ・ 盲導犬について親だけではなく、子どもたちにも知ってもらえたのでよい機会でした。</p> <p><その他> ・ 家庭教育学級「きみを守る防災食品の味」の一環で、受付時に防災食品と長期保存水を配付した。 ・ 次年度は、多くの保護者に参加してもらうために、授業参観後に全校児童と一緒に参加できる家庭教育学級の企画を検討している。</p>	



開催日時の工夫

多数の保護者に参加していただけるように、土曜日に開催された授業参観の後に講演会の時間を設定した。



児童の参加

人権教育(障がい者理解)の一環として、講演会に児童も参加できるようにした。また、同じ講演を親も子も聞くことで、家庭で感想を伝え合うなど親子の対話ができるようにした。